

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 リーガルコーポレーション
 コード番号 7938 URL <http://www.regal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩崎 幸次郎
 (氏名) 亀田 元之

TEL 047-304-7084

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,875	7.3	594	211.3	610	340.5	240	—
23年3月期第1四半期	7,339	△5.4	191	—	138	—	△108	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 428百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.04	8.01
23年3月期第1四半期	△3.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,097	7,895	27.9
23年3月期	28,458	7,464	26.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,839百万円 23年3月期 7,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,750	△7.0	△50	—	△120	—	△250	—	△8.36
通期	32,200	△2.8	750	△35.7	600	△42.5	300	△31.7	10.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	32,500,000 株	23年3月期	32,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,595,253 株	23年3月期	2,595,253 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	29,904,747 株	23年3月期1Q	29,840,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復していくのに伴い、景気は上向きの動きがみられるものの、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響により景気が下振れするリスクが存在するなど、先行きが読めない状況となっております。

当靴業界におきましても、異業種を交えた競争の激化や低価格販売志向による商品価格の低下など、依然として厳しい状況にはありますが、東北地方を中心に復興需要もあり、徐々にではあります個人消費に持ち直しの兆しが見られるようになってきました。

このような環境のなか、当社グループは、ブランド特性に応じた販売チャネル別の営業体制の下で、店頭売上を重視した営業活動、リーガルブランドの更なる価値向上に向けた取り組みやカジュアル・コンフォート商品の開発強化などに注力するとともに、販売管理費などのコスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,875百万円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益は594百万円(前年同四半期比211.3%増)、経常利益は610百万円(前年同四半期比340.5%増)となりました。また、株価の下落により投資有価証券を減損処理したことや繰延税金資産を取崩したことなどにより、四半期純利益は240百万円(前年同四半期純損失108百万円)の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(靴小売事業)

ブランド・業態別では、「リーガルシューズ店」、「シューズストリート(ネット通販)」および「アウトレット店」が堅調に推移いたしました。特に東日本大震災以降、4月から東北地方を中心に復興需要の気運も高まり前年実績を大きく上回る実績を上げました。一方で「オンディーズ店」や「ナチュラライザーショップ」の売上が減少いたしました。

靴小売事業全体では前年売上実績を上回る結果となり、徐々に回復傾向が見られましたが電力不足による節電や大手デベロッパーのバーゲンセール期間前倒しなど、例年とは状況が変化しており、先行きにやや不安が残る第1四半期でありました。

出退店につきましては、リーガルシューズ札幌パセオ店を出店し、フィットイン郡山店、杭州セントラル店(中国)を閉店いたしました結果、直営小売店の店舗数は、126店舗(前年同四半期125店舗)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,680百万円(前年同四半期比6.8%増)、営業利益は238百万円(前年同四半期営業損失36百万円)となりました。

(靴卸売事業)

紳士靴は、機能性を重視したカテゴリーの商品群が好調で、履き心地とデザインが充実した「リーガルウォーカー」や梅雨時対応商品が売上を伸ばし、震災による節電モードでクールビズが注目を集める中、素足で履けるカジュアルシューズが例年よりも好調に推移いたしました。一方で量販店・GMS向けの特注商材に関しては年々減少傾向にあり今後尚一層、市場動向の変化を見据えた付加価値商材の開発に注力していく必要があります。

婦人靴は、4月から5月の春物需要期において「リーガル婦人」がエレガンス品、カジュアル品ともに好調に推移、また紳士靴同様に早期の入梅の影響もあり「ビューフィット」のレインシューズが売上を伸ばしました。一方サンダルに関しては、6月後半からの他社でのバーゲンセールの前倒しもあり、当社のプロパー品は苦戦を強いられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,153百万円(前年同四半期比7.5%増)、営業利益は330百万円(前年同四半期比116.3%増)となりました。

(その他)

不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は81百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益は16百万円(前年同四半期比46.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、28,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が1,832百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が769百万円減少したことや、敷金及び保証金が1,462百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、20,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ791百万円減少いたしました。これは、借入金の返済などにより、短期借入金が794百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、7,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券を減損処理したことなどによるその他有価証券評価差額金が193百万円増加したことや、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が240百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第1四半期決算における業績は堅調に推移いたしましたが、東日本大震災の影響による電力使用制限などもあり、先行き不透明な状況であります。従いまして、現時点では、平成23年5月13日付決算短信で発表いたしました業績予想を修正せず、据え置いております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,612	3,444
受取手形及び売掛金	5,085	4,316
商品及び製品	6,111	6,267
仕掛品	218	216
原材料及び貯蔵品	519	535
その他	952	970
貸倒引当金	△392	△392
流動資産合計	14,106	15,357
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,290	2,290
その他（純額）	2,634	2,580
有形固定資産合計	4,925	4,871
無形固定資産		
のれん	77	70
電話加入権	27	27
ソフトウェア	34	31
その他	—	1
無形固定資産合計	138	131
投資その他の資産		
投資有価証券	4,115	4,181
敷金及び保証金	2,895	1,433
その他	2,440	2,290
貸倒引当金	△164	△167
投資その他の資産合計	9,287	7,737
固定資産合計	14,351	12,739
資産合計	28,458	28,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,293	4,322
短期借入金	6,721	5,927
未払法人税等	106	40
賞与引当金	311	169
ポイント引当金	459	459
移転関連損失引当金	243	—
店舗閉鎖損失引当金	1	—
災害損失引当金	36	32
その他	1,646	2,133
流動負債合計	13,819	13,085
固定負債		
長期借入金	1,670	1,420
退職給付引当金	3,518	3,494
移転関連損失引当金	—	221
資産除去債務	186	189
その他	1,797	1,790
固定負債合計	7,173	7,116
負債合計	20,993	20,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	690	690
利益剰余金	1,635	1,875
自己株式	△416	△416
株主資本合計	7,264	7,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△17
繰延ヘッジ損益	△5	△5
土地再評価差額金	416	416
為替換算調整勘定	△57	△58
その他の包括利益累計額合計	142	334
新株予約権	14	14
少数株主持分	42	41
純資産合計	7,464	7,895
負債純資産合計	28,458	28,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,339	7,875
売上原価	3,860	4,079
売上総利益	3,478	3,796
販売費及び一般管理費	3,286	3,201
営業利益	191	594
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	15	12
持分法による投資利益	40	38
雑収入	11	16
営業外収益合計	80	78
営業外費用		
支払利息	43	33
売上割引	10	8
デリバティブ評価損	64	2
雑支出	15	19
営業外費用合計	132	63
経常利益	138	610
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	178	165
その他	0	0
特別損失合計	181	165
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40	444
法人税、住民税及び事業税	28	24
法人税等調整額	38	185
法人税等合計	67	209
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107	234
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108	240

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107	234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	180
為替換算調整勘定	△5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	11
その他の包括利益合計	35	193
四半期包括利益	△72	428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73	432
少数株主に係る四半期包括利益	1	△4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,445	3,862	7,307	31	7,339	—	7,339
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	42	42	△42	—
計	3,445	3,862	7,307	73	7,381	△42	7,339
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△36	152	116	30	147	44	191

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,680	4,153	7,834	41	7,875	—	7,875
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	39	39	△39	—
計	3,680	4,153	7,834	81	7,915	△39	7,875
セグメント利益	238	330	569	16	585	9	594

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。